

令和元年度墨田区立立花吾孺の森小学校経営報告書

令和2年3月18日

学 校 目 標	『自學自修』を校訓として主体的に学ぶ子を育てる
目 指 す 学 校 像	信頼と誇りに基づいた活力ある学校
目 指 す 子 供 像	自信とやる気をもち、知徳体をバランスよく備えた子供
目 指 す 教 師 像	授業力・指導力、情熱・使命感、実行力のある教員、保護者や地域と連携し共に子供を育てていこうという気概をもつ教員

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	①学んだ内容定着を確実にするため、ふりかえり、繰り返す学習活動や機会を毎時必ず設ける。 ②対話や協働を通して知識を獲得し、思考する力をさらに高めるための授業の取り組みを各教科で実施する。 ③学びのベーシックを全学年で共有し、これを基盤とした授業の改善や児童への指導の徹底を図り全学年一貫した学習規律を定着させる。 ④ICT機器の有効活用を通じて各教科における学習への興味を高め、知識と技能の定着を図る。 ⑤外国語や道徳科などの各教員の授業力を高める。	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	①学力CD層への国語科・算数科の指導の充実を図る。支援員や習熟度別指導をはじめ、週に一度は補習の時間を設けたり、放課後すみだ塾や長期休業中の補習を今年よりも時数を増やして行う。 ②特別支援コーディネーターを中心に、特別支援専門員を有効に活用し、かがやき（特別支援教室）のスタッフと綿密に連携して入退級判定や実際の指導に生かす。	B	B
	学校は、子供の将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	A	①自己肯定感を高める活動を、学級や全校で年間計画に位置付け、継続して取り組む。児童が協働しながらともに育つ環境を実現するよう努めた。（縦割り・あいさつ活動等） ②学校支援ネットワークを活用した出前授業を各学年年2回以上実施し、多様な経験を積ませる ③たちあづ班活動を通じて高学年の自覚や行動力を高め、下学年児童の模範となるようにする。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	①「たちあづベーシック」を全学年共通の基盤として学習を進める。教員それぞれのとらえ方を統一して指導を展開し、児童にとっての学びの継続性を大切にする。 ②興味や関心を高め、取り扱う学習内容によっては、生活に結び付ける学習の工夫を行った。（算数・理科等） ④ICT機器を毎時間活用し、変化があり、意欲的に学ぶことのできる授業を行う。（IPAD活用・インターネットのコンテンツの活用等） ⑤区教研や研修の機会を活用し、教科指導力の向上に努める。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		・学力調査の結果を受け、しっかりと対策を行い、さらにスコアが伸びるように、わかる授業、一人一人に応じた指導を行ってほしい。 ・授業参観では、児童同士が意見を活発に交換している姿が見られた。友人とともに、一生懸命学ぶたちあづの児童の良さを、さらに高めてもらいたい。		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	

様式 4

		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	C	①喫緊の課題は全職員で情報共有し迅速に組織的対応できる態勢を作った。 ②「立吾小さいじめ防止の基本方針と取組」をもとにいじめの未然防止に努めた。保護者や地域と協力し解決に当たる。 ③不登校傾向の児童の登校改善のため「特別支援チーム」をつくり、対策会議、具体的な働きかけで不登校ゼロをめざす。 ④生活指導連絡会を、週に一度行う。	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	①「立吾しぐさ」の指導を徹底する。、あいさつ運動の3度の実施 ②土曜授業を活用した体験的学習や、心の教育を推進していく。 ③異年齢交流（たちあがり）を実施し、児童の自律、互いを大切にする心を育てる。 ④人権教育を常に意識した指導で、児童が互いを大切にする心をはぐくむ。	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	①避難訓練を通じて自分の身は自分で守る力をはぐくむ。 ②ルールを守ることの大切さを繰り返し指導し、安全な行動につなげる。 ③学校施設安全点検を月に一度行い、事故の防止に努める。 ③情報モラル教育を推進し、扱いかからモラルまで実態に応じた指導を行う。 ④長期休業前の安全指導を徹底するとともに、人権関係の指導も必ず行う。 ⑤台風などの緊急対応時のマニュアルを作成し、すべき事柄を明確にする。	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立てているか。	B	①アイチェック、授業アンケート、行事毎の保護者アンケートを活用して、要望や意見を把握し、教育活動に反映していく。 ②PTA及びおやじの会、立吾がんきひろばとの連携による活動を行う。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活指導は保護者や地域との連携をしっかりと行わないと、難しい。</li> <li>いじめに対しては予防を第一に考え、いじめが認められたときは、迅速に対応するべき。</li> <li>民生児童委員などの地域の力や警察などの機関に遠慮せずに相談し、問題の解決に当たってほしい。</li> </ul>		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	①「学力向上・心の教育・健康体力の増進」の3つの教育課題に取り組むプロジェクトチームをつくり取り組んでいく。 ②授業力向上のための取組として校内研究を「アクティブスクール・児童の生活習慣の確立や体力の向上等を目指す」として進める。 ③校務分掌の見直しを行い、配置を工夫することで業務負担の分散化を図り、効率よい学校運営を実現する。 ④幹部会議を週に二回以上行い、業務の進捗状況を互いに把握し、漏れを防ぐ。	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	①学力下位層の基礎学力5%アップを目標として取り組んでいく。国語、算数少数指導で個に対応した授業を多く設定する。 ②学力上位層に対する学習の手立てを工夫する。 ③体力づくりをめあてから見直し、意義のある活動とする。 ④いいところ見つけ運動の取り組みを継続して行う。 ⑤教師は児童の個々をしっかりとみとり、児童を育てる目で機を逃さずほめて認め、指導すべき時はきちんと指導できる資質を磨くよう努力する。 ⑥ADHD や発達障害をもつ児童に対する対応方法、指導の工夫を学ぶ機会を設け適切に指導評価できるように努力する。 ⑦外国人児童に対する指導を、通訳や諸機関との連携を通じて適切に行う。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	①特別支援教室の適切な運営。PCルームの改修等を念頭に入れ、長期的な展望を持ったうえで区教委とも連絡しながら多様な活動が可能な場所の確保に努める。 ②予算の計画的な執行や学校運営交付金の執行に当たり、広く意見を聞き情報を集めることで、よりよい環境や教育資源	B	B

様式 4

			の確保に努める。		
	学校関係者評価委員会の意見等	増えている外国人児童の対応や特別支援教育の推進など、課題が多い。職員の組織を固めて、一枚岩になり、対応してほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	C	①学校公開・行事公開を改善し、様々な教育活動を参観できるように工夫していく。 ②年2回の保護者会、個人面談を、効果的に行う工夫をする。 ③担当者を増員し、HPにおける情報発信を行う。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	①副校長を窓口とし、PTA組織と綿密に連携することで、児童の教育活動の充実を図る。 ②「立吾げんきひろば」と連携した放課後遊びおよび学習教室を拡大する。 ④地域と連携し、防災活動や防災教育を進めていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの更新を定期的に行うとともに、可能な限り情報を発信し、活動に対する理解を得られる努力が必要である。</li> <li>・元気ひろばは定着してきたが、学校との役割分担や必要な情報の共有などが課題である。</li> <li>・増えている外国人児童の対応や特別支援教育の推進など、課題が多い。</li> </ul>			

2 令和元年度学校評価のまとめ

<p>①学力向上は引き続き、重点課題である。</p> <p>②学習規律の確立や基本的な生活習慣などに関する指導について、成果が見られる。児童の個々の課題に関して地域とも連携して解決方法を探る。</p> <p>③素直で一生懸命学ぶ児童の良さを生かし、互いを大切にしたり意見を述べ合ったりする活動をお展開する。</p> <p>④特別支援教育への精神的なハードルをなくし、個に応じた適切な指導ができるよう環境を整える。</p> <p>⑤事故やいじめなど未然に防ぐ研修会や意識を高める取り組みを行う。</p>
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立立花吾嬬の森小 学校 校長 横山 公一

